

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ ヤナイ カズヒコ 氏 名 谷内 一彦	職 名 人間学部・健康栄養学科	取 得 学 位 (大学名) 医学博士 (取得年月)1986年3月	
----------------------------	--------------------	--	--

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概 要
東北大学・医学部・医学科(薬理学・臨床薬理学) 東北大学・全学教育(基礎ゼミ)	2022年3月まで	医学部2-4年生に、薬の臨床的使用法や新薬の開発について講義。 東北大学の全学部1年生に基礎教養科目として「医薬品と医療機器の開発」のゼミナールを実施(2017,2020,2021年度) 薬学部4年生に創薬への応用を医学的立場からの薬物療法概説。 1-4年生に解剖生理学、病気と栄養等を講義
東北大学・薬学部・薬学科(臨床薬理学) 仙台白百合女子大学	2022年3月まで	
	2022年3月まで 2022年4月～	

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
1. Efficacy and Safety of Non-brain Penetrating H1-Antihistamines for the Treatment of Allergic Diseases.	共著	2022年	Curr Top Behav Neurosci. 59:193-214.	<u>Yanai K</u> , Yoshikawa T, Church MK.		2021年10月8日
2. “善玉”としてのヒスタミン:花粉症から薬の作用を考える	単著	2022年2月13日	東北大学出版会 2022年2月13日			

翻訳

翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
イラストレイテッド薬理学(原著 8 班)	共著	印刷中	丸善出版	谷内一彦	柳沢輝行/丸山敬	13ページ

学術研究発表

発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
1. “善玉”としてのヒスタミン	2021年10月24日	第25回日本心療内科学総会・特別講演
2. 私の研究履歴書：“拡散系”薬理学研究	2021年12月9日	第42回日本臨床薬理学会年会・会長講演
3. Molecular PET imaging and its application to drug development	2021年6月25日	第23回日韓薬理学合同セミナー(国際学会)

II 所属学会

学会名	役職	入会年月(西暦)
(公社)日本薬理学会	顧問・理事長・副理事長・財務委員長・名誉会員	1988年4月
(一社)日本臨床薬理学会	年会長・評議員・名誉会員	1998年12月

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)

助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
日本学術振興会	2019-2022	国際共同研究 強化B	神経変性疾患における蛋白特異的 PET 分子イメージング法の開発	14,200,000
日本学術振興会	2022-2025	基盤研究B	ヒスタミン系薬理学研究に残された解決すべき重要な研究課題の解明	13,500,000
日本学術振興会	2020-2021	萌芽研究	神経疾患への応用を目指したフッ素18標識タンパク質 PET 分子プローブの開発	5,000,000
文部科学省	2014-2018	新学術領域	蛋白特異的 PET イメージングによる神経回路破綻機序の解明 万円、代表	100,300,000

3. 特記事項

Scopus 業績評価: 文献数 378、被引用 13594、h-index 64(令和6年6月7日現在)

Top Neuroscience Scientists in Japan: 日本国内全神経科学研究者中で 30 位にランク。<https://research.com/scientists-rankings/neuroscience/jp>

仙台白百合女子大学の産業医として勤務